

2023年5月1日現在

白梅学園大学・白梅学園短期大学における施設の耐震化状況について

下記白梅学園大学・白梅学園短期大学における耐震化率（耐震性がある建物・施設の面積割合）は、100.0%になっています。

整理番号	建物区分	学内での建物名称	構造コード	地上階	地下階	延床面積(合計:m ²)	耐震診断の状況
1	校舎	J棟	鉄骨	2		1,202	耐震診断不要
2	校舎	地域交流研究センター棟	鉄骨	2		507	耐震診断不要
3	校舎	A棟	鉄筋コンクリート造	4	1	1,216	耐震補強実施済み
4	校舎	B棟	鉄筋コンクリート造	4	1	3,173	耐震補強実施済み
5	校舎	E棟	鉄筋コンクリート造	4	1	3,489	耐震補強実施済み
6	校舎	F棟	鉄筋コンクリート造	4		2,049	耐震診断不要
7	校舎	I棟	鉄筋コンクリート造	3	1	2,339	耐震診断不要
8	体育施設兼講堂	第1大体育館	鉄筋コンクリート造	2		1,179	耐震補強実施済み
9	多目的施設	多目的室	鉄骨	1		268	耐震補強実施済み
						15,422	

※私立学校強者等実態調査における対象施設により

※耐震性のある建物：昭和57年（新耐震性基準）以降に建築した建物と、昭和56年（旧耐震基準）以前に建築した建物のうち、耐震診断を行い、耐震性があると判断された建物。